

精神保健福祉活動の実績報告書

横浜市社会福祉事業協会での精神保健福祉の活動実績

1.更生施設「横浜市中央浩生館」の運営

横浜市中央浩生館は、開所当初より当時はまだ非常に少なかった「社会的入院による地域生活が困難な精神障害者」の退院先として、多くの精神障害者を受け入れ、社会復帰へ向けた支援を行って来ました。当時は、精神障害者を取り巻く状況は大変厳しく現在のような社会資源も皆無であり、ようやく県内に数ヶ所の地域作業所（現地域活動支援センター）が出来始めた程度でした。横浜市中央浩生館では、アルコール依存症の入所者には AA（アルコールリクス・アノニマス）プログラムを活用した断酒プログラムを提供し、自立への支援を行い、多くの回復者を送り出しました。その中から、新たに自ら断酒グループを立ち上げた方や、アルコール依存症回復施設の施設長や職員として現在も地域で活躍されている方を多数輩出しています。また、長期・短期の入院生活を余儀なくされ社会生活スキルを奪われてしまった統合失調症を初めとする精神疾患を抱えた利用者に対しては、施設生活をとおして生活リズムの習得、服薬の習慣づけによる再燃の防止、対人スキルの向上等を通じて、地域生活への自信を取り戻し、社会復帰に向けての支援を行いました。そして社会との接点を広げることによる「その人らしさ」を取り戻すために、病院や関係機関等と連携して、病院デイケアや区の生活教室、さらに、精神障害者地域作業所への通所などの働きかけを行いました。日常生活が安定し、本人が自信を取り戻したところで、次のステップとしてアパート設定や自宅への復帰を目指し、地域生活を送りながら作業所等の日中活動の場に通所するというスタイルを確立しました。これらは今で言うところの地域移行・地域定着支援事業や生活訓練施設の機能を先駆的に行っていた訳です。また、1990年から設置が始まったグループホームへの移管によって、今でも数多くの精神障害者が地域生活を送っています。

1989年神奈川県精神障害者地域作業所連絡協議会が主催した「やすらぎキャンプ」への参加をきっかけに、横浜市中央浩生館のあった南区では地域作業所・保健所（当時）の生活教室・更生施設の利用者が主体的にキャンプというイベントを作り上げるという事業がありました。そこで得られたものは、利用者自身が持っている「力」への感動、その力を支援者側が奪っていないかという振り返りの大切さであり、その想いを共有できた作業所・グループホーム・保健所のMSW（メディカルソーシャルワーカー）等の職員達と精神障害者福祉の向上を目指した活動は今でも継続されています。

2.横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センターの指定管理者

2003年からは、こころの病を抱えた方が自分らしく地域で安心して生活していくために、「明るく笑顔のあふれる生活支援センター」というコンセプトの基に、横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センターの受託経営がスタートしました。

保土ヶ谷区生活支援センターでは当事者のみならず、高齢者支援担当、区障害者支援担当と協働して毎月開催される家族会の定例会や各種のイベントにも積極的に参加させていただき、良好な関係を構築するとともに家族に対して積極的に支援を行っています。また、ボランティアの育成や、実習生、小・中学生の積極的な受け入れを行うことにより、精神障害の正しい理解にむけた普及啓発活動にも力を注いでいます。2010年の指定管理者公募でも選定いただき、地域における精神福祉推進の拠点施設として、2020年までの管理運営を積極的に行っていきます。

3.障害者支援施設「よこはまりバーサイド泉」、グループホーム（現在7ホーム）の運営

主たる対象者は身体障害者ですが、近年特に増えているのが精神障害との重複や、自殺企図の結果車イス生活を余儀なくされている利用者です。そのような方の支援は生活上の介護だけにとどまらず、精神的に寄り添い安心感の提供によって初めて安定した生活を送ることが可能となってい

ます。しかし、残念ながら車いすを常時利用する方の入院を受け入れてくれる病院は皆無に等しい状況です。そのような中、理解を示して下さり、車いす利用者の入院を受け入れていただいている「横浜相原病院」の医師を招いて、精神疾患に関する勉強会を実施し支援の幅を広げています。

4.横浜市地域ケアプラザ2館の指定管理者

指定管理者として指定を受けている「横浜市大岡地域ケアプラザ」「横浜市箕沢地域ケアプラザ」では包括支援センターが地域の身近な総合相談の窓口として位置付けられており、高齢者のみならず、精神障害に関する相談も数多く寄せられています。区障害者支援担当者や区内の生活支援センターと連携を持ち、精神障害者やその家族に対する地域生活の継続に尽力しています。

5.グループホームサンライズ(グループホーム/ケアホーム)の運営

2010年12月グループホームサンライズを泉区に開設しました。主たる障害は精神障害・知的障害で10名の利用者が生活を送っています。休日・夜間も世話人を配置し、安心・安全をモットーに、グループホームを生活の基盤とし、就労・地域活動支援センター・病院デイケア・地域生活支援センター等に通所し安定した生活を送っています。

6.新設グループホームの運営(予定)

2012年3月、保土ヶ谷区内に精神障害者を対象にしたグループホームを新設します。横浜市からの内示も受け現在開所へ向けて準備中です。なお、このグループホームのバックアップ施設は横浜市保土ヶ谷区精神障害者生活支援センターです。

以上のように協会内の各施設では専門分野にとどまらず横浜市内各地域で、精神保健福祉活動を展開し、「夢と希望のもてる誰もが住みやすい社会との架け橋を築く」という協会理念の実現を目指して、計画的な人材育成計画に基づく専門的かつ視野の広い人材育成を行っています。

保土ヶ谷区生活支援センターでの活動実績

1.横浜市生活支援センター連絡会

保土ヶ谷区生活支援センターは、横浜市内の4番目の生活支援センターでありましたが、横浜市生活支援センター連絡会初代代表を務め、横浜市と協働して精神障害者の地域福祉の増進に貢献しました。その後も事務局施設(2012年5月まで)としてセンター連絡会の良好な運営に尽力しています。生活支援センター連絡会は、横浜型=A型の生活支援センターと国基準型=B型の生活支援拠点点を会員とし、定例会を初め調査、企画、研修、広報の各委員会活動を通じ、生活支援センターの普及啓発と利用者・職員間の交流や事例検討会等の研修会を通じたスタッフの資質向上に努めています。

2.生活支援センターの設置に関する在り方検討会

横浜型(A型)生活支援センターの設置に関する在り方検討会でも、現場の意見を数多く発表させていただき「精神障害者生活支援センターに関する検討会報告書」としてまとめられ、その後の横浜市における生活支援センターの設置展開に寄与しました。

3.作業所・グループホームの運営委員への職員の派遣

横浜マック・寿アルクといったアルコール依存症回復のためのデイケアセンターや精神障害者地域活動支援センター・グループホームの運営委員を数多く務めています。

4.NPO 法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会との協働

NPO 法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会 研修事業部への参画により情報の共有と各種研修への協働を行っています。

NPO 法人横浜市精神障害者地域生活支援連合会が設立した横浜市精神保健福祉研究所の企画委員として研修事業についての参画を行っています。

5.神奈川県精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会神奈川県支部への参画

法人には神奈川県精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会神奈川県支部に加入し、役員を務めている職員もいます。2008年6月に開催された日本精神保健福祉士協会全国大会では実行委員として法人内職員が複数名参画しました。

6.横浜精神保健福祉連絡会「ここネット」への参画

横浜市内病院、グループホーム、地域活動支援センター、生活支援センター、就労支援センター等、精神保健福祉支援従事者の組織である横浜精神保健福祉連絡会「ここネット」の幹事会や会合、勉強会に参画し広範囲なネットワークの構築に努めています。

7.三団体での活動

2006年障害者自立支援法の施行を鑑み、東京都地域生活支援センター連絡会、NPO 法人神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会とともに横浜市生活支援センター連絡会として、国会議員、厚生労働省に要望書を提出するなど生活支援センター機能や役割の重要性を訴える活動を行いました。

8.「精神障害者地域生活支援センター全国フォーラム」の開催

障害者自立支援法の施行により法制度上からなくなってしまう精神障害者生活支援センターの存在意義を全国の生活支援センター従事者と確認・共有するために、2007年に初めて生活支援センターの全国大会「精神障害者地域生活支援センター全国フォーラム」を開催し、その後も年1回開催しています。

9.精神保健参与員

2005年より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（心神喪失者等医療観察法）」に基づき、対象者の処遇を決定する際に精神保健福祉の観点から意見を述べる精神保健参与員を法人内職員が複数名務めています。

10.横浜市障害区分認定審査会委員委嘱

横浜市障害区分認定審査会委員に法人内職員が複数名務めています。

11.横浜市障害者施策推進協議会委員委嘱

2006年から2008年にわたって、精神障害者支援者代表として横浜市障害者施策推進協議会委員を務め、横浜市における精神障害者福祉の増進に寄与しました。

法人名

社会福祉法人 横浜市社会事業協会